

運営推進会議、介護・医療連携推進会議記録

日時	2025 年 8 月 27 日（水） 15:30～17:00
事業所名	医療生協さいたま生活協同組合 ヘルパーステーションいぶき
サービス種別	定期巡回随時対応型訪問介護看護
記録者	望月
出席者（ 12 名）	●訪問看護ステーション虹 ●訪問看護ステーションかがやき ●お結び訪問看護ステーション ●埼玉協同病院 ●さくら病院 ●ケアセンターすこやか ●老健みぬま ●ハロー薬局 ●MC
会議項目・内容	別紙のとおり
所見・課題・その他	老人保健施設みぬまの「みぬまひろば」にて集合し開催 【服薬の事例に関わった事業所からのご意見】 ●訪問看護ステーション虹様 ・服薬するまでの見守り等をしたが、なかなか服薬ができなかった。 ・定期巡回サービス開始後、毎日ヘルパーが訪問する事により、服薬できる回数が増えた。更に服薬回数を 3 回から 1 回に減らし毎日服用することで数値が良くなった。毎日服用する事の大事さを痛感した。 ●ハロー薬局様 ・薬を一包化したり、服薬カレンダー使用したり服薬しやすい環境づくりから始めたが、なかなか服薬できない為、声掛けするようにした。 ・残薬管理を行った事で、往診が付きあいの長い先生でもあり、服薬回数など提案しやすかった。 ・薬局は薬がメインなので服用してもらわないといけない立場の為、看護師やヘルパーさんが入る事で目的が達せられた。 【在宅復帰についてのご意見】 ●埼玉協同病院様 ・退院調整をする立場で安否確認、服薬確認で定期巡回を検討した事がある。 ・体調不良で状態の変化や独居での転倒リスク等心配ごとがあり、CM に相談する事が多い。

・CM と情報共有し支援会議を行い、実際にいぶきが対応する事でケアの提案がなされ自分たちの希望と合致する事が多い。

・退院直後で状況が変化するところから、柔軟な対応ができる定期巡回の支援が入ることでケアが成り立っていくのではと思っている。

●さくら病院様

・回復期の病棟。退院前に決まった業者さんとカンファを行うが、定期巡回のサービスを聞いた事がなかった。今後のケアに活かしていきたい。

・当院は認知症の患者、老々介護という事が多い。経済的な問題で在宅になる事もある。その際に定期巡回が利用できるのかな、と思った。

【終末期・看取りへの関わり方についてのご意見】

●ケアセンターきょうどう所長

・管理者を務めていた頃、定期巡回を利用すると訪問看護として収益的にどうかと話が上がるが、同じ事業所の総合的な収益で上がっているところで対応し、訪問リハを入れたりして少しでも収益が上がるよう努力した。

・医療との連携となると医療保険となり別の収益になる。ヘルパーが早朝訪問により体調確認ができた。必要なら頻回の訪問が出来る為、ヘルパーとの連携により、訪看の負担が軽減された。

・24時間365日サービスで緊急コールをヘルパーがまず受ける事により、認知症等による電話対応の負担が軽減されている。

●お結び訪看様

・以前、いぶきと終末期の利用者で仕事をした。在宅での体調や状況、ご本人の強い思いや家族の思い等、定期巡回のサービスのヘルパーが間に入る事で情報共有ができ、ケアの調整ができた。

・昼夜問わずの随時対応、頻回なコールで定期巡回に助けられた。定期巡回を勧めたい利用者も現在いるので相談していきたい。

●訪看かがやき様

・看取りで定期巡回利用。頻回の訪問をヘルパーがする事で状況が把握できた。

【事業運営の活動についてのご意見】

●すこやか様

・訪看との連携が強みのある事業所だと思っているが、ヘルパーから看護師への連絡が課題となっている。定期巡回はヘルパーから訪看、訪看から医療への連携が大事だと思っている。

・川口市で同じ法人内で3事業所が定期巡回をやっているのが心強い。

・定期巡回をどうゆう風にやればよいのかわからなかったが、過剰サービスという話で振り返る点があるかと思った。看護師との連携も取っていきたい。

【その他のご意見】

●MC様

- ・生活が苦しい利用者が多くなってきている。1割負担を払うのがやっとという人も多い。自己負担を増やそうしている政策で利用できない人も増え、結果、訪問系事業所の倒産も増えていく。介護報酬の増加等頑張っていきたい。

●みぬま様

- ・初めての参加で、1年目の相談員で机上では定期巡回を知っていた。今回の参加は良かった。サービスの使い方や連携できたらと思っている。

●訪問看護ステーション虹様

- ・7月11日から管理者として赴任。
その前に在籍していたかしの木では人員確保の問題で夜間ができなかったりして、利用者が広がらないという問題があった。いぶきが夜間対応をしている事で、夜間の強みを実感している。
- ・頻回のコールを聞いていると大変さを実感。コールによる訪看の負担が軽減されている。

【質疑応答】

●<さくら病院様>定期巡回サービスでは対応する事業所のエリアがあるのか？

- ・<いぶき>おおむね緊急で30分で駆け付けられるのが条件としている。いぶきは車移動ということもあり、地域は広めとなっている。
- ・<すこやか>事業所では夜間も自転車移動。駅近いので車が難しい。行動範囲は狭くなっている。

●<さくら病院様>在宅復帰で最初は濃密に入る事もあると聞いたが、情報共有の頻度はどのくらいか？

- ・<いぶき>パソコン、タブレットで訪問記録を見る事ができる。契約してる訪看は、訪問前に確認していたりする。緊急性があれば電話等で直接連絡する事もある。

●<いぶき>ハロー薬局様に質問あり。いつも飲み薬が残っている利用者が多いのか？

- ・<ハロー薬局様>けっこう多い。服薬ロボットとかもあるが、高齢者はあまり使えない。精神疾患の人は使えている事が多い。服薬するよう繰り返しアラームがなる装置もある。

定期巡回の利用できる人がいると思われるが、薬局内では周知していない。周知されれば利用範囲が広がってくるかと思う。

	訪看が薬セットで入っている。セットに1時間かかる。薬局もセットする。やっているが服薬されない事が多い。顔が見える関係になれば周知し利用する提案が薬局から増えるかも。定期巡回で頻回に入ることによって服薬状況の提案が医療に向けて提案ができる。 薬剤お訪問会議があるので在宅薬剤師が認識し広げていくことが大事。 ●＜ハロー薬局様＞生保は利用できるのか？ ・定期巡回も利用できる。生活保護の場合、自費は出せない。定期巡回は1か月まるめなので利用しやすい点があるかも。点数内であれば川口市は大丈夫。 【閉会】CC きょうどう所長 ・暑い中の参加ありがとうございます。2017年よりいぶきがサービスを開始しているが、なかなか定期巡回サービスが周知されていない事を感じている。これから周知されるよう努力をしていきたい。
次回の会議予定日	2026年 2月頃 予定

※ 記入欄は適宜調整してください。収まりきらない場合は2枚以上でも差し支えありません。

※ 会議の記録は、この書式以外でも差し支えありません。